

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-202429

(43)Date of publication of application : 27.07.2001

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

G06F 19/00

G06K 7/00

G07G 1/12

G07G 1/14

G09C 1/00

H040 7/38

(21)Application number : 2000-009273

(71)Applicant : STAR NET KK

(22)Date of filing : 18.01.2000

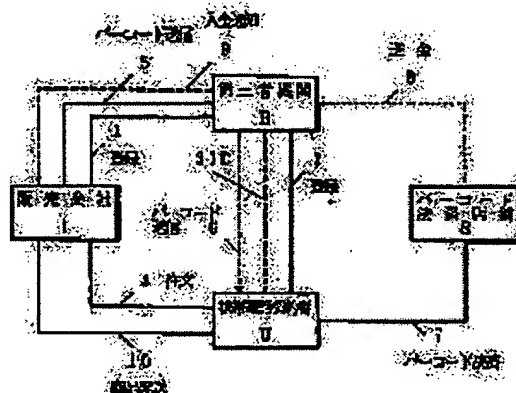
(72)Inventor : YAMAMOTO MASATAKA
TOMIOKA OSAMU

(54) METHOD AND SYSTEM FOR SETTLEMENT USING PORTABLE TELEPHONE SET AND STORAGE MEDIUM STORED WITH PROGRAM FOR SETTLING METHOD USING PORTABLE TELEPHONE SET

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To make a settlement by reading a bar code displayed on a portable telephone set with an image display function at a store equipped with a bar code reader.

SOLUTION: The price and transaction code of an article, the ID of a portable telephone contractor, etc., are displayed as a bar code and information of them is sent and received through the Internet, etc.; and a bar code settlement store and/or a 3rd institution is interposed between a selling company and the portable telephone contractor to secure the safety of commercial transaction and make the transaction easy and speedy.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

09.01.2003

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-202429

(P2001-202429A)

(43) 公開日 平成13年7月27日 (2001.7.27)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テームド [*] (参考)
G 0 6 F 17/60		G 0 6 K 7/00	U 3 E 0 4 2
19/00		G 0 7 G 1/12	3 2 1 L 5 B 0 4 9
G 0 6 K 7/00		1/14	Z E C 5 B 0 5 5
G 0 7 G 1/12	3 2 1	G 0 9 C 1/00	6 6 0 B 5 B 0 7 2
1/14	Z E C	G 0 6 F 15/21	3 4 0 A 5 J 1 0 4

審査請求 未請求 請求項の数19 O L (全 22 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2000-9273 (P2000-9273)

(22) 出願日 平成12年1月18日 (2000.1.18)

(71) 出願人 398001067

スターネット株式会社

東京都港区赤坂2-12-10

(72) 発明者 山本 正孝

東京都文京区本郷二丁目3番7号 スター
ネット株式会社内

(72) 発明者 富岡 修

東京都文京区本郷二丁目3番7号 スター
ネット株式会社内

(74) 代理人 100095061

弁理士 加藤 恭介

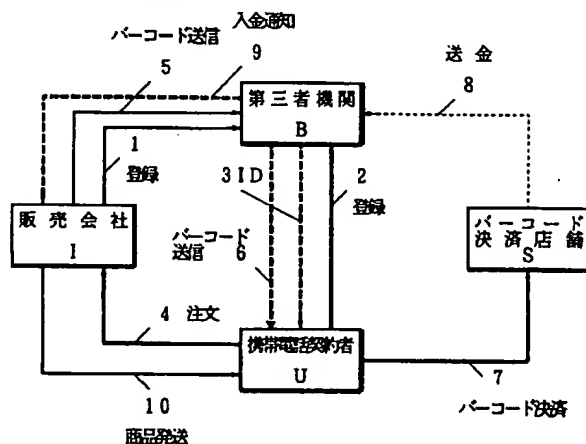
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 携帯電話機を使用した決済方法、および携帯電話機を使用した決済システム、並びに携帯電話機を使用した決済方法のプログラムが記憶されている記憶媒体

(57) 【要約】

【課題】 画像表示機能を有する携帯電話機に表示されたバーコードをバーコード読取器を備えた店舗において、読み取らせて決済を行うことができる。

【解決手段】 本発明は、商品の値段、取引コード、および携帯電話契約者のID等をバーコードによって表示し、これらの情報をインターネット等を介して送受信すること、および販売会社と携帯電話契約者との間にバーコード決済店舗および/または第三者機関を介在させることによって、商取引上の安全を確保すると共に、簡便かつ迅速な取り引きを可能にした。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 携帯電話機に表示されたバーコードによる決済方法を登録した契約者からの注文に合った取引コードおよび値段を表示したバーコードを販売会社から前記携帯電話契約者に送信する第1ステップ、
前記携帯電話契約者の携帯電話機で前記バーコードを受信し、その画像表示手段によって表示した後、バーコード決済店舗でバーコードに表示されている値段を決済する第2ステップ、

前記携帯電話契約者の決済通知を受けた前記販売会社から前記商品を前記携帯電話契約者に発送する第3ステップ、
前記各ステップを携帯電話機、POS装置、コンピュータ、通信手段等を含む情報処理装置によって行うことを特徴とする携帯電話機を使用した決済方法。

【請求項2】 前記第2ステップと第3ステップとの間に、信用機関として第三者機関が介入することを特徴とする請求項1に記載された携帯電話機を使用した決済方法。

【請求項3】 前記販売会社とバーコード決済店舗とが同一であることを特徴とする請求項2に記載された携帯電話機を使用した決済方法。

【請求項4】 前記バーコードは、月極めで販売会社から携帯電話機に表示されたバーコードによる決済方法を登録した契約者に送信されることを特徴とする請求項1に記載された携帯電話機を使用した決済方法。

【請求項5】 前記携帯電話機に表示されたバーコードによる決済方法を登録した契約者と販売会社、および前記販売会社とバーコード決済店舗は、それぞれネットワークによって接続されていることを特徴とする請求項1ないし請求項4のいずれか1項に記載された携帯電話機を使用した決済方法。

【請求項6】 携帯電話機に表示されたバーコードによる決済方法を登録した契約者が第三者機関に登録した際に得たバーコードからなるIDを携帯電話機の画像表示手段に表示させる第1ステップ、
前記携帯電話契約者が決済を行う際に、前記バーコードからなるIDおよび商品の値段がバーコード決済店舗のバーコード読取器によって読み取られる第2ステップ、
前記バーコード読取器によって読み取られた前記バーコードが第三者機関に送信されて、前記バーコードからなるIDの照会、バーコードからなる商品の値段の決済、および振込・引落の処理を行う第3ステップ、
前記各ステップを携帯電話機、POS装置、コンピュータ、通信手段等を含む情報処理装置によって行うことを特徴とする携帯電話機を使用した決済方法。

【請求項7】 携帯電話機に表示されたバーコードによる決済方法を登録した契約者が第三者機関に登録した際に得たバーコードからなるIDを携帯電話機の画像表示手段に表示させる第1ステップ、

前記携帯電話契約者が決済を行う際に、前記バーコードからなるIDおよび商品の値段がバーコード決済店舗のバーコード読取器によって読み取られる第2ステップ、
前記バーコード読取器によって読み取られたバーコードが第三者機関に送信されて、前記バーコードからなるIDの照会を終了した後、別の決済用バーコードを送信する第3ステップ、

前記決済用バーコードを携帯電話機で受信した後、バーコード読取器によって読み取られた決済用バーコードが第三者機関に送信されて、商品の値段が即時に決済されるための処理を行う第4ステップ、
前記各ステップを携帯電話機、POS装置、コンピュータ、通信手段等を含む情報処理装置によって行うことを特徴とする携帯電話機を使用した決済方法。

【請求項8】 前記携帯電話機を使用した決済システムを構成する第三者機関における情報処理装置は、バーコードをスクランブル処理または暗号化処理が行えることを特徴とする請求項1、請求項6、または請求項7のいずれか1項に記載された携帯電話機を使用した決済方法。

【請求項9】 前記第三者機関は、金融機関、信販会社、運送会社、コンビニエンスストア、スーパーマーケット、デパートメントストア、バーコード決済を目的とした会社の中の一つであることを特徴とする請求項6または請求項7に記載された携帯電話機を使用した決済方法。

【請求項10】 携帯電話機を使用した決済システムを構成する第三者機関における情報処理装置は、
取引コードおよび商品の値段を表示するバーコードを発行するバーコード発行部と、
携帯電話機に表示されたバーコードによる決済方法を登録した契約者およびそのIDをバーコードとして記憶するメモリ装置と、
前記バーコードの情報を送受信する送受信手段と、
を少なくとも備えていることを特徴とする携帯電話機を使用した決済システム。

【請求項11】 前記携帯電話機を使用した決済システムを構成する第三者機関における情報処理装置は、入金通知および商品受取通知受領手段を備えていることを特徴とする請求項10に記載された携帯電話機を使用した決済システム。

【請求項12】 前記携帯電話機を使用した決済システムを構成するバーコード決済店舗における情報処理装置は、
前記携帯電話機に表示されたバーコードによる決済方法を登録した契約者のID、取引コード、および当該商品の値段を表示するバーコードの情報を読み取るバーコード読取器と、
バーコード読取器によって読み取った情報に基づく金額を入金する金銭登録器と、

前記バーコードの情報によって所定の販売会社へ送金する送金手段と、
を少なくとも備えていることを特徴とする携帯電話機を使用した決済システム。

【請求項 13】 前記携帯電話機を使用した決済システムを構成するバーコード決済店舗における情報処理装置は、入金通知および商品受取通知受領手段を備えていることを特徴とする請求項 12 に記載された携帯電話機を使用した決済システム。

【請求項 14】 前記携帯電話機を使用した決済システムを構成する販売会社における情報処理装置は、携帯電話機に表示されたバーコードによる決済方法を登録した契約者から注文を受ける受信装置と、前記受信装置によって前記携帯電話契約者から注文を受けた取引コードを読み取る取引コード読取部と、前記取引コードに基づいてその値段をバーコードに変換するバーコード発行部と、前記受信装置によって注文を受けた携帯電話契約者の ID を発行する携帯電話契約者 ID 発行部と、前記バーコード発行部および携帯電話契約者 ID 発行部によって発行されたバーコードを第三者機関に送信する送信装置と、
を少なくとも備えていることを特徴とする携帯電話機を使用した決済システム。

【請求項 15】 前記携帯電話機を使用した決済システムを構成する販売会社における情報処理装置は、取引コード、商品の値段、および携帯電話契約者 ID を表示するバーコードを携帯電話機に表示されたバーコードによる決済方法を登録した契約者に送信する送信装置を少なくとも備えていることを特徴とする請求項 14 に記載された携帯電話機を使用した決済システム。

【請求項 16】 請求項 10 および請求項 14 におけるバーコード発行部によって発行されたバーコードは、送信に際しスクランブルまたは暗合化されることを特徴とする携帯電話機を使用した決済システム。

【請求項 17】 前記携帯電話機を使用した決済システムを構成する携帯電話機には、スクランブルあるいは暗合化されたバーコードを正常なバーコードに解除するスクランブルまたは暗合化解除手段を少なくとも備えていることを特徴とする請求項 10、請求項 12、請求項 14 のいずれか 1 項に記載された携帯電話機を使用した決済システム。

【請求項 18】 前記バーコードのスクランブルまたは暗合化を解除する時間は、決められた時間のみであることを特徴とする請求項 16 に記載された携帯電話機を使用した決済システム。

【請求項 19】 前記請求項 1 ないし請求項 9 に記載されている携帯電話機を使用した決済方法のプログラムが記憶されている記憶媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、画像表示機能を有する携帯電話機に表示されたバーコードをバーコード読取器を備えた店舗において、読み取らせて決済を行うことができる携帯電話機を使用した決済方法、および携帯電話機を使用した決済システム、並びに携帯電話機を使用した決済方法のプログラムが記憶されている記憶媒体に関するものである。

【0002】本発明は、画像表示機能を有する携帯電話機の表示部にバーコードを表示させることにより、インターネット等の通信回線上、あるいは通信販売における取り引き上の安全を確保すると同時に、流通における決済の簡便性および迅速性を達成するものである。本発明は、携帯電話機に表示されたバーコードに決済機能を持たせたことを特徴とするものである。

【0003】

【従来の技術】従来、インターネット等の通信回線を介して商品を注文する場合、ユーザは、コンピュータで商品名、販売会社名等を知り、その場で注文を行うことができる。前記インターネット等の通信回線を介した商取引は、中間の経費がからずに、また、多くの在庫を抱えることが少なく、商品を安価に販売することができる。また、前記取り引きは、ユーザの注文から商品の受領までの時間を短縮することができる。さらに、前記ユーザは、多くの種類がある商品の中から所望のものを迅速に見つけることができ、かつ、安価なものが手に入る。以上のように、前記商取引は、ユーザおよび販売会社の両者にとっても数々の利点がある。

【0004】また、インターネット等の通信回線を介しての商品の注文や通信販売で買物をする際に、ユーザは、クレジットカードの番号を販売会社に知らせるか、あるいは銀行振込等によって決済を行う。しかし、このクレジットカードの番号を販売会社に知らせることは、販売会社が信頼される会社であっても、インターネット等の通信回線を介する取り引きや通信販売の場合、知らぬ間に誰かに知られてしまう恐れがある。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】インターネット等の通信回線を介した商取引や通信販売は、前記利点が多いが、反対に商品を売る販売会社の信用、ユーザ側の信用等が判らないため、不正取り引きの温床になる場合がある。たとえば、商品に対する費用を振り込んだが商品が発送されない、商品が発送したが、費用が振り込まれないといった問題等がある。本発明は、以上のような課題を解決するためのもので、インターネット等の通信回線を介した商取引や通信販売であっても、ユーザおよび販売会社の両方にとって、安全な取り引きができるというものである。

【0006】本発明は、インターネット等の通信回線および携帯電話機を使用することによって、安全な商取引

を簡便でしかも迅速にできる携帯電話機を使用した決済方法、および携帯電話機を使用した決済システム、並びに携帯電話機を使用した決済方法のプログラムが記憶されている記憶媒体を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】（第1発明）本発明の携帯電話機を使用した決済方法は、携帯電話機に表示されたバーコードによる決済方法を登録した契約者からの注文に合った取引コードおよび値段を表示したバーコードを販売会社から前記携帯電話契約者に送信する第1ステップ、前記携帯電話契約者の携帯電話機で前記バーコードを受信し、その画像表示手段によって表示した後、バーコード決済店舗でバーコードに表示されている値段を決済する第2ステップ、前記携帯電話契約者の決済通知を受けた前記販売会社から前記商品を前記携帯電話契約者に発送する第3ステップ、前記各ステップを携帯電話機、POS装置、コンピュータ、通信手段等を含む情報処理装置によって行うことを特徴とする。

【0008】（第2発明）本発明の携帯電話機を使用した決済方法は、第1発明の第2ステップと第3ステップとの間に、信用機関として第三者機関が介入することを特徴とする。

【0009】（第3発明）本発明の携帯電話機を使用した決済方法は、販売会社とバーコード決済店舗とが同一であることを特徴とする。

【0010】（第4発明）本発明の携帯電話機を使用した決済方法において、バーコードは、月極めで販売会社から携帯電話機に表示されたバーコードによる決済方法を登録した契約者に送信されることを特徴とする。

【0011】（第5発明）本発明の携帯電話機を使用した決済方法において、携帯電話機に表示されたバーコードによる決済方法を登録した契約者と販売会社、および前記販売会社とバーコード決済店舗は、それぞれネットワークによって接続されていることを特徴とする。

【0012】（第6発明）本発明の携帯電話機を使用した決済方法は、携帯電話機に表示されたバーコードによる決済方法を登録した契約者が第三者機関に登録した際に得たバーコードからなるIDを携帯電話機の画像表示手段に表示させる第1ステップ、前記携帯電話契約者が決済を行う際に、前記バーコードからなるIDおよび商品の値段がバーコード決済店舗のバーコード読取器によって読み取られる第2ステップ、前記バーコード読取器によって読み取られた前記バーコードが第三者機関に送信されて、前記バーコードからなるIDの照会、バーコードからなる商品の値段の決済、および振込・引落の処理を行う第3ステップ、前記各ステップを携帯電話機、POS装置、コンピュータ、通信手段等を含む情報処理装置によって行うことを特徴とする。

【0013】（第7発明）本発明の携帯電話機を使用した決済方法は、携帯電話機に表示されたバーコードによ

る決済方法を登録した契約者が第三者機関に登録した際に得たバーコードからなるIDを携帯電話機の画像表示手段に表示させる第1ステップ、前記携帯電話契約者が決済を行う際に、前記バーコードからなるIDおよび商品の値段がバーコード決済店舗のバーコード読取器によって読み取られる第2ステップ、前記バーコード読取器によって読み取られたバーコードが第三者機関に送信されて、前記バーコードからなるIDの照会を終了した後、別の決済用バーコードを送信する第3ステップ、前記決済用バーコードを携帯電話機で受信した後、バーコード読取器によって読み取られた決済用バーコードが第三者機関に送信されて、商品の値段が即時に決済されるための処理を行う第4ステップ、前記各ステップを携帯電話機、POS装置、コンピュータ、通信手段等を含む情報処理装置によって行うことを特徴とする。

【0014】（第8発明）本発明の携帯電話機を使用した決済方法において、携帯電話機を使用した決済システムを構成する第三者機関における情報処理装置は、バーコードをスクランブル処理または暗号化処理が行えることを特徴とする。

【0015】（第9発明）本発明の携帯電話機を使用した決済方法において、第三者機関は、金融機関、信販会社、運送会社、コンビニエンスストア、スーパーマーケット、デパートメントストアー、バーコード決済を目的とした会社の中の一つであることを特徴とする。

【0016】（第10発明）本発明の携帯電話機を使用した決済システムにおいて、携帯電話機を使用した決済システムを構成する第三者機関における情報処理装置は、取引コードおよび商品の値段を表示するバーコードを発行するバーコード発行部と、携帯電話機に表示されたバーコードによる決済方法を登録した契約者およびそのIDをバーコードとして記憶するメモリ装置と、前記バーコードの情報を送受信する送受信手段と、を少なくとも備えていることを特徴とする。

【0017】（第11発明）本発明の携帯電話機を使用した決済システムにおいて、携帯電話機を使用した決済システムを構成する第三者機関における情報処理装置は、入金通知および商品受取通知受領手段を備えていることを特徴とする。

【0018】（第12発明）本発明の携帯電話機を使用した決済システムにおいて、携帯電話機を使用した決済システムを構成するバーコード決済店舗における情報処理装置は、前記携帯電話機に表示されたバーコードによる決済方法を登録した契約者のID、取引コード、および当該商品の値段を表示するバーコードの情報を読み取るバーコード読取器と、バーコード読取器によって読み取った情報に基づく金額を入金する金銭登録器と、前記バーコードの情報によって所定の販売会社に送金する送金手段と、を少なくとも備えていることを特徴とする。

【0019】（第13発明）本発明の携帯電話機を使用

した決済システムにおいて、携帯電話機を使用した決済システムを構成するバーコード決済店舗における情報処理装置は、入金通知および商品受取通知受領手段を備えていることを特徴とする。

【0020】（第14発明）本発明の携帯電話機を使用した決済システムにおいて、携帯電話機を使用した決済システムを構成する販売会社における情報処理装置は、携帯電話機に表示されたバーコードによる決済方法を登録した契約者から注文を受ける受信装置と、前記受信装置によって前記携帯電話契約者から注文を受けた取引コードを読み取る取引コード読取部と、前記取引コードに基づいてその値段をバーコードに変換するバーコード発行部と、前記受信装置によって注文を受けた携帯電話契約者のIDを発行する携帯電話契約者ID発行部と、前記バーコード発行部および携帯電話契約者ID発行部によって発行されたバーコードを第三者機関に送信する送信装置と、を少なくとも備えていることを特徴とする。

【0021】（第15発明）本発明の携帯電話機を使用した決済システムにおいて、携帯電話機を使用した決済システムを構成する販売会社における情報処理装置は、取引コード、商品の値段、および携帯電話契約者IDを表示するバーコードを携帯電話機に表示されたバーコードによる決済方法を登録した契約者に送信する送信装置を少なくとも備えていることを特徴とする。

【0022】（第16発明）本発明の携帯電話機を使用した決済システムにおいて、バーコード発行部によって発行されたバーコードは、送信に際しスクランブルまたは暗合化されることを特徴とする。

【0023】（第17発明）本発明の携帯電話機を使用した決済システムにおいて、携帯電話機を使用した決済システムを構成する携帯電話機には、スクランブルあるいは暗合化されたバーコードを正常なバーコードに解除するスクランブルまたは暗合化解除手段を少なくとも備えていることを特徴とする。

【0024】（第18発明）本発明の携帯電話機を使用した決済システムにおいて、バーコードのスクランブルまたは暗合化を解除する時間は、決められた時間のみであることを特徴とする。

【0025】（第19発明）本発明の記憶媒体は、第1発明ないし第9発明の方法を実施するための携帯電話機を使用した決済方法のプログラムが記憶されている。

【0026】

【発明の実施の形態】本発明は、携帯電話機に備えている画像表示機能を利用することにより、安全でしかも簡便、かつ迅速な商取引を可能にしたものである。すなわち、本発明は、商品の値段、取引コード、および携帯電話契約者のID等をバーコードによって表示し、インターネット等の通信回線を介して送受信すること、および販売会社と携帯電話契約者との間にバーコード決済店舗および／または第三者機関を介在させることによって、

商取引上の安全を確保すると共に、簡便かつ迅速な取引引きを可能にした。なお、本明細書において、本発明のバーコード決済方法を利用する者を以下、単に「携帯電話契約者」と記載する。

【0027】本発明のバーコード決済店舗は、代表的にはコンビニエンスストア、スーパーマーケット、ファミリーレストラン等があるが、バーコード読取器およびPOS端末機等を有する店舗、会社、または機関であれば、個人店でも大型店でもかまわない。たとえば、本発明のバーコード決済店舗は、前記以外に、たとえば、本屋、ガソリンスタンド、遊園地、銀行、その他の金融機関等がある。本発明のバーコード決済店舗は、バーコード読取器とコンピュータのような送受信手段を有する情報処理装置を備えている店舗であれば、特に限定されない。

【0028】バーコードは、商品の値段、商品名や商品の種類、規格、取引形態等からなる取引コード、携帯電話契約者のID等、少なくとも3種類からなる。前記バーコードを読み取るバーコード読取器は、前記バーコードを3回に分けて読んでも、1回で読むようにしてもよい。前記バーコードを3回に分けて読む場合、コンビニエンスストア等にある従来のバーコード読取器をそのまま利用することができる。

【0029】（第1発明）第1発明の商取引を行いたい者は、たとえば、バーコード決済店舗に携帯電話機に表示されたバーコードによる決済方法を行うための登録をしてバーコードによるID番号を得る。前記携帯電話機に表示されたバーコードによる決済方法を登録した契約者は、販売会社に対して、たとえば、インターネット等の通信回線を介して商品を注文する。販売会社は、前記携帯電話契約者に対して、注文した取引コードおよび値段を表示したバーコードを送信する（第1ステップ）。

【0030】前記携帯電話契約者は、販売会社から送信されたバーコードを携帯電話機によって受信すると同時に、バーコードが携帯電話機のメモリ装置に記憶される。その後、前記携帯電話契約者は、バーコード決済店舗に行き、携帯電話機の画像表示部に表示されているバーコードがバーコード決済店舗のバーコード読取器によって読み取られると共に、携帯電話機の画像表示部に表示された商品に対する対価を決済する（ステップ2）。

【0031】前記バーコード決済店舗における情報処理装置は、通信装置あるいはインターネット等の通信回線によって、前記携帯電話契約者から前記商品の決済が行われたことを販売会社に通知する。前記通知を受けた販売会社の情報処理装置は、商品名、携帯電話契約者ID、値段等がバーコードによって表示されている発送伝票と共に当該商品を前記携帯電話契約者に発送するための処理を行う（ステップ3）。

【0032】必要により、前記発送伝票は、商品と同時にまたは別に携帯電話機にバーコードで送信することがで

きる。このような場合、前記携帯電話契約者は、買物のついでに、前記バーコード決済店舗で前記バーコードを読ませる。前記バーコード決済店舗における情報処理装置は、前記バーコードによって、前記携帯電話契約者が商品を受け取ったことを確認できるため、商品の対価を販売会社に送金するための処理を行うことができる。

【0033】前記各ステップは、前記携帯電話契約者がバーコード決済店舗に決済に行く場合と、商品が販売会社から前記携帯電話契約者に発送される場合以外、携帯電話機、POS装置、コンピュータ、通信手段等を含む情報処理装置によって自動的に処理することができる。

【0034】第1発明において、取引コード、携帯電話契約者ID、商品の値段が表示されたバーコードは、携帯電話機に送信されるが、他人がこれを傍受したとしても、悪用できる価値のあるものではない。また、第1発明は、バーコード決済店舗が販売会社と前記携帯電話契約者との間に入るため、決済されたお金がバーコード決済店舗にある間に決済通知を受けた販売会社が商品を安心して発送することができる。

【0035】前記携帯電話契約者は、必要に応じて、近所のコンビニエンスストア等と契約を結んでおけば、通常の買物のついでに決済ができるため、便利でしかも簡便かつ迅速に決済ができる。販売会社は、コンビニエンスストアのチェーン店のどこでも決済できるように契約を締結しておけば、携帯電話契約者が自宅の近所のコンビニエンスストア、あるいは勤務先の近所のコンビニエンスストアのどこでも、いつでも決済が可能になる。

【0036】(第2発明) 第2発明は、バーコード決済店舗と販売会社との間に信用機関として第三者機関が介在している。前記第三者機関としては、たとえば、信販会社、銀行等の金融会社、携帯電話機を使用した決済方法を行うために設立した会社等であるが、携帯電話契約者および販売会社の双方にとって信頼のある会社であれば、前記会社に限定されない。

【0037】(第3発明) 第3発明は、販売会社とバーコード決済店舗とが同一であるため、信用機関として第三者機関を介在させた方が商取引をより安全にすることができる。チェーン店舗を多く有するコンビニエンスストアにおいて、同じ商品の在庫数を全店に備える場合、無駄が多くなるため、通信販売やインターネット販売を兼ねることがある。また、販売会社とコンビニエンスストアが共同の販売を行うような場合に好適である。コンビニエンスストアが大手の会社で、商品の発送が補償されるのであれば、信用機関が不要になる。

【0038】(第4発明) 第4発明は、販売会社が新聞、テレビ、ガス、水道、電気等の公共料金、あるいは家賃、駐車場料金、月謝等毎月極められた金額、あるいは所定の計算方法によって決まる金額を決済する方法で

ある。前記料金の決済方法は、銀行による自動払い以外に、その都度銀行に振り込んだり、あるいは徴収人が各家庭に赴いて徴収している。第4発明は、前記料金が携帯電話機に送信され、買物のついでに決済ができるため、振込を忘れたりすることがなく、また、徴収人の人件費が不要になる。

【0039】(第5発明) 第5発明は、携帯電話機に表示されたバーコードによる決済方法を登録した携帯電話契約者と販売会社、および前記販売会社とバーコード決済店舗は、それぞれインターネット等のネットワークによって接続されている。特に、前記携帯電話契約者の販売会社に対する注文後にバーコードが送信される時間が早く、また、前記販売会社とバーコード決済店舗とのネットワークによる接続により、瞬時に決済通知が行えるため、携帯電話契約者の商品注文から商品の受領までの時間が短縮できると共に、その間の手間がかからずに済む。

【0040】(第6発明) 第6発明において、携帯電話機に表示されたバーコードによる決済方法を望む携帯電話契約者は、たとえば、金融機関のような第三者と契約を結び、決済用のバーコードからなるIDを発行して貰う。前記バーコードは、携帯電話機のメモリ装置に記憶されているが、携帯電話機の所有者以外が画像表示手段に表示できないようにしておけば、携帯電話機が盗難にあっても、前記IDを使用されることがない。

【0041】バーコード決済店舗に行って、買物をした場合、携帯電話機に前記バーコードを表示させる。バーコード決済店舗は、バーコードからIDおよび商品の値段をバーコード読取器により読み取る。前記バーコード読取器によって読み取られた前記バーコードは、前記第三者機関の情報処理装置に送信されて、前記バーコードからなるIDの照会、バーコードからなる商品の値段の決済、および振込・引落の処理を行う。これらの処理は、携帯電話機、POS装置、コンピュータ、通信手段等を含む情報処理装置によって行うため、携帯電話機がクレジットカードに略等しい機能を持つことになる。

【0042】(第7発明) 第7発明は、携帯電話機の通信機能と、画像表示手段に表示されたバーコードによって、決済および引落が即時に行えるようにした点で、第6発明と異なっている。携帯電話契約者がバーコード決済店舗において、決済を行う場合、携帯電話機の画像表示手段に表示されているバーコードを前記バーコード決済店舗におけるバーコード読取器によって読んで貰う。前記バーコード読取器によって読み取られたバーコードは、バーコード決済店舗における情報処理装置によって、第三者機関に送信される。

【0043】第三者機関における情報処理装置は、送信されて来たバーコードを解析して、ID等のバーコード情報によって、決済してもよいという判断ができた場合、前記バーコードとは異なる決済用のバーコードを携

携帯電話契約者に送信する。決済用のバーコードは、携帯電話契約者の携帯電話機で即座に受信されて、前記バーコード読取器によって読み取られる。前記決済用バーコードは、さらに、第三者機関に送信されて、第三者機関の情報処理装置が商品の値段を即時に携帯電話契約者の口座から引き落とすための処理を行う。

【0044】（第8発明）第8発明は、第7発明のように口座の引落が即座に行われる際のセキュリティを高めるためのもので、バーコードをスクランブルしたり、あるいは暗合化することにより、商取引上高いセキュリティを得ることができる。そして、前記スクランブルまたは暗合の解除は、携帯電話契約者が携帯電話機に暗証番号等を入力する等によって簡単に行うことができる。バーコード決済機能を有する携帯電話機は、第8発明のようにしておけば、紛失しても、バーコードを悪用することができない。

【0045】（第9発明）第9発明における第三者機関は、金融機関、信販会社、運送会社、コンビニエンスストア、スーパーマーケット、デパートメントストア、

バーコード決済を目的とした会社の中の一つである。また、前記第三者機関は、バーコード決済店舗を兼ねることができる。

【0046】（第10発明）第10発明は、携帯電話機の画像表示装置に表示されたバーコードによって決済を行う携帯電話機を使用した決済システムに必要な第三者機関における情報処理装置である。前記情報処理装置は、通常の制御手段以外に、少なくとも、バーコード発行部と、本システムに必要な情報を格納するメモリ装置と、バーコード等を送受信する送受信手段とが必要である。

【0047】前記バーコード発行部は、販売会社から送信された取引コードに基づいて、商品名、商品の値段、携帯電話契約者ID等をバーコードに変換することができるものである。前記メモリ装置は、携帯電話機に表示されたバーコードによる決済方法を登録した契約者のIDをバーコードとし、あるいはコードとして記憶されている。また、前記メモリ装置は、販売会社から送られて来た情報と第三者機関にある情報とを一時的あるいは恒久的に記憶しておく必要がある。そして、前記メモリ装置は、携帯電話契約者に送信するバーコードを一時的に表示するためにも必要である。

【0048】（第11発明）第11発明の第三者機関は、販売会社および携帯電話契約者の両方にとって信頼されるものである必要があるため、入金通知および商品受取通知受領手段をシステムに採用している。入金通知は、第三者機関に携帯電話機に表示されたバーコードによる決済方法を登録した契約者から入金があったことを第三者機関の情報処理装置が販売会社に知らせるものである。

【0049】前記情報処理装置における商品受取通知受

領手段は、携帯電話契約者が商品を受け取ったことを第三者機関に知らせ、販売会社に送金することを可能にするものである。第11発明のようなシステムにすることにより、インターネット等の通信回線の商取引において、商品の発送が無かった、あるいは商品を発送したが入金が無かったということがないようにしている。

【0050】（第12発明）第12発明は、携帯電話機の画像表示装置に表示されたバーコードによって決済を行う携帯電話機を使用した決済システムに必要なバーコード決済店舗における情報処理装置である。前記情報処理装置は、通常の制御手段以外に、少なくとも、バーコード読取器と、POS端末機のような金銭登録器と、銀行等を介して決済が行える送金手段とが必要である。

【0051】前記バーコード読取器は、販売会社あるいは第三者機関から携帯電話機に送信される前記携帯電話契約者のID、取引コード、および当該商品の値段等のバーコード情報を読み取ることができるものである。前記金銭登録器は、POS端末機能を有すると共に、前記バーコード読取器によって読み取られたバーコード情報に基づく入金を記憶する。その後、送金手段は、前記入金された金額を販売会社または第三者機関に送金する。たとえば、送金手段は、インターネット等の通信回線による決済方法を採用することにより、コンピュータで処理することができる。

【0052】（第13発明）第13発明のバーコード決済店舗は、販売会社および携帯電話契約者の両方にとって信頼されるものである必要があるため、入金通知および商品受取通知受領手段システムを採用すると都合が良い。入金通知は、バーコード決済店舗において、携帯電話機に表示されたバーコードによる決済方法を登録した契約者から入金があったことを販売会社に知らせるものである。販売会社は、前記入金通知を得ることにより、安心して商品を携帯電話契約者に発送することができる。

【0053】信用機関となるバーコード決済店舗は、携帯電話契約者が商品を受け取ったことを知るための受領手段を備えておく必要がある。携帯電話契約者からの商品受取通知を前記受領手段によって得た後、バーコード決済店舗は、販売会社に商品の対価を送金する。以上のような決済を行うシステムは、インターネット等の通信回線や通信販売による商取引を行っても、販売会社と携帯電話契約者との間にトラブルがなく、バーコード決済店舗を介して互いに信頼した商取引が可能になる。

【0054】（第14発明）第14発明は、携帯電話機の画像表示装置に表示されたバーコードによって決済を行う携帯電話機を使用した決済システムに必要な販売会社における情報処理装置である。前記情報処理装置は、通常の制御手段以外に、少なくとも、携帯電話契約者の注文を受けることができる受信装置と、取引コードを読

み取れる取引コード読取部と、商品に対応したバーコード発行部と、携帯電話機の契約者ID発行部と、これらの各情報を送信できる送信装置とを備えている。

【0055】前記販売会社における情報処理装置は、ネットワークを介して携帯電話契約者から商品の注文を受信装置によって受信する。次に、前記情報処理装置は、携帯電話契約者の注文した商品に対する取引コードを読み取り、当該商品に対する値段等のバーコード情報をバーコード発行部により発行する。また、前記情報処理装置は、予め登録されている携帯電話契約者のID、たとえば、バーコードとして発行する。その後、発行された値段、携帯電話契約者ID等を表すバーコードは、送信装置により、第三者機関に送信される。第三者機関、バーコード決済店舗、および携帯電話契約者における情報処理装置は、前述の通りである。

【0056】(第15発明) 第15発明における販売会社の情報処理装置は、第14発明において、送信装置から第三者機関にバーコード情報を送信するのに対して、携帯電話機に表示されたバーコードによる決済方法を登録した契約者に直接送信できるようにする。このようなシステムにすることにより、商取引の安全と簡便性、および迅速性を備えることができる。

【0057】(第16発明) 第16発明は、本発明の携帯電話に表示されたバーコードによる決済方法をさらに安全な取引とするためのものである。本発明のバーコード発行部は、発行されたバーコードを送信する際に、スクランブルまたは暗合化される。前記処理をしたバーコードは、他人が傍受したとしても、内容が判らないため安全である。

【0058】(第17発明) 第17発明は、携帯電話機に前記スクランブルまたは暗合を正常なバーコードに解除するための処理を行わせる。前記携帯電話機は、スクランブルまたは暗合化されたバーコードを正常なバーコードに解除するスクランブルまたは暗合解除手段を備えている。携帯電話契約者は、特別な番号を入力すると、前記スクランブルまたは暗合解除手段によって、スクランブルまたは暗合が解除されて、正常なバーコードにさせることができる。

【0059】(第18発明) 第18発明は、バーコード決済を行う時のみスクランブルまたは暗合化を解除し、携帯電話機を紛失したり、あるいは盗難に会っても、バーコードを悪用できないようにするものである。すなわち、送信されて来た前記バーコードのスクランブルまたは暗合化したものは、携帯電話契約者が解除しても、所定の時間が経過した後、また元のスクランブルまたは暗合化されるようになっている。第18発明は、携帯電話機にクレジットカードのような機能を持たせても、クレジットカードより安全にすることができる。

【0060】(第19発明) 第19発明は、第1発明ないし第9発明の携帯電話機を使用した決済方法のプログ

ラムが記憶されている記憶媒体である。前記記憶媒体は、通常の情報処理装置に使用するものであれば、いかなる形式のものでも利用することが可能である。

【0061】

【実施例】図1は本発明の第1実施例で、販売会社と携帯電話契約者との間の商取引にバーコード決済店舗と第三者機関が介在する例を説明するための概念ブロック構成図である。図1において、数字は、手続きあるいは処理の順序を示すものである。販売会社Iは、たとえば、インターネット等の通信回線を用いて商取引を行う会社、あるいはその他の通信手段を用いて商取引を行う通信販売会社である。

【0062】第三者機関Bは、銀行、信販会社等の金融機関、運送会社、あるいはバーコード決済を行うために設立された会社である。バーコード決済店舗Sは、コンビニエンスストア、ファミリーレストラン、デパートメントストア、本屋、ガソリンスタンド、遊園地等、バーコード読取器と、POS端末機等を有する店舗である。携帯電話契約者Uは、携帯電話機の画像表示手段に表示されたバーコードによる決済方法を登録した契約者である。

【0063】本実施例のバーコード決済システムは、前記四者によって、商取引の安全確保と簡便性および迅速性を得ようとするものである。たとえば、最初、販売会社Iと第三者機関Bとは、携帯電話機を使用したバーコード決済による販売を支援するために相互に契約および/または登録(1)を行っておく。また、同時に、第三者機関Bと携帯電話機に表示されたバーコードによる決済方法を希望する者は、携帯電話機に表示されたバーコードによる決済方法を行うことを登録(2)しておく。また、前記第三者機関Bは、携帯電話機に表示されたバーコードによる決済方法を登録した契約者Uに対してバーコードまたは番号からなるID(3)を発行する。

【0064】販売会社Iは、たとえば、インターネットのホームページを通じて商品広告を出すと共に、バーコード決済が可能であることを宣伝する。携帯電話機に表示されたバーコードによる決済方法を登録した契約者(以後、単に携帯電話契約者と記載する)Uは、インターネットのホームページを見て、希望の取引コードと前記IDとを入力して商品の注文(4)を行う。前記販売会社Iの情報処理装置は、携帯電話契約者Uからの商品注文を受け付けると同時に、バーコードを第三者機関に送信する(5)。

【0065】第三者機関Bの情報処理装置は、前記バーコードを受信すると同時に携帯電話契約者Uに対して、前記販売会社Iから送られて来たバーコードを自動的に送信(6)する。携帯電話契約者Uは、第三者機関Bから送信されたバーコードを携帯電話機の画像表示部に表示させると共に、近所のバーコード決済店舗Sに行きバーコード読取器によって決済(7)を行う。バーコード

決済店舗 S の端末機は、前記バーコードによって、自分の店で売った商品の代金ではなく、前記販売会社 I の商品に対する決済であることを知り、第三者機関に送金 (8) する処理を行う。

【0066】第三者機関 B の情報処理装置は、送金がバーコード決済店舗 S からあったことを知り、同時に販売会社 I に対して入金通知 (9) を行う。販売会社 I の情報処理装置は、携帯電話契約者 U の注文した商品に対する対価が前記第三者機関 B に振り込まれていることを確認して、携帯電話契約者 U に商品発送 (10) を行うための処理をする。前記第三者機関 B の情報処理装置は、前記商品が発送された時期を考慮して、一定時間経過後に自動的に販売会社 I に前記商品に対する対価が振り込まれるような処理を行う。携帯電話契約者 U は、所定期間が経過しても、商品が送られて来ない場合、第三者機関 B に対して、販売会社 I に商品の対価を振り込まないような処理を依頼することができる。

【0067】前記のように、携帯電話機の画像表示機能と、バーコードを使用すると共に、信用機関である第三者機関 B および携帯電話契約者 U の近所にあるバーコード決済店舗 S を介在させることにより、商取引の安全、支払いの簡便さ、および商品の注文から商品の発送あるいは入金までの時間を短縮することができる。また、第三者機関 B およびバーコード決済店舗 S は、コンピュータ等の情報処理装置にソフトウェアを入れるだけで、殆ど自動的にできるため、手間がかかるものでもない。さらに、たとえば、第三者機関 B において、バーコード情報等のやりとりが記憶できるようにしておくこともできる。

【0068】図 2 は本発明の第 2 実施例で、図 1 における商取引をさらに安全に行うための例を説明する概念ブロック構成図である。図 2 において、数字は、手続きあるいは処理の順序を示すものである。本実施例のバーコード決済システムは、たとえば、最初、バーコード決済店舗 S と第三者機関 B とは、携帯電話機によるバーコード決済による販売を支援するために相互に契約および/または登録 (1) を行っておく。

【0069】また、同時に、前記バーコード決済店舗 S と携帯電話契約者 U とは、携帯電話機に表示されたバーコードによる決済方法を行うことを登録 (2) しておく。前記携帯電話契約者 U と前記バーコード決済店舗 S との登録は、必ずしも行う必要がない。また、必要に応じて、前記バーコード決済店舗 S は、携帯電話契約者 U に対してバーコードあるいは番号からなる ID を発行することができる。

【0070】前記携帯電話契約者 U は、たとえば、販売会社 I のインターネット等の通信回線上のホームページを見て、希望の取引コードと自分の携帯電話機番号、ID 等を入力して商品の注文 (3) を行う。前記販売会社 I の情報処理装置は、携帯電話契約者 U からの商品注文

を受け付けると同時に、前記各情報をバーコードに変換して、当該バーコードを携帯電話契約者 U に送信する

(4)。前記携帯電話契約者 U は、前記販売会社 I から送信されたバーコードを携帯電話機の画像表示部に表示させると共に、近所のバーコード決済店舗 S に行き、バーコード読取器によって決済 (5) を行う。バーコード決済店舗 S の端末機は、前記バーコードによって、自分の店で売った商品の代金ではなく、前記販売会社 I の商品に対する決済であることを知り、第三者機関 B に送金 (6) する処理を行う。

【0071】第三者機関 B の情報処理装置は、送金がバーコード決済店舗 S からあったことを知り、同時に販売会社 I に対して入金通知 (7) を行うための処理をする。販売会社 I の情報処理装置は、携帯電話契約者 U の注文した商品に対する対価が前記第三者機関 B に振り込まれていることを確認して、携帯電話契約者 U に商品発送 (8) を行うための処理をする。前記携帯電話契約者 U は、たとえば、前記商品の発送と同時に添付されたバーコードが表示されている商品受取通知 (9) をバーコード決済店舗に持参して、バーコード読取器によって読み込んでもらう。

【0072】バーコード決済店舗 S の端末機は、前記商品受取通知に表示されたバーコードを読み取ると同時に、前記バーコードの内容を判断して、第三者機関 B の情報処理装置に受取通知 (10) を転送する。第三者機関 B の情報処理装置は、前記受取通知を受信することにより販売会社 I に対する送金 (11) のための処理を行う。

【0073】図 2 に示されたバーコードによる決済システムは、信用機関である第三者機関 B に商品の対価が入金された後、携帯電話契約者 U に販売会社 I から商品が発送され、携帯電話契約者 U が商品を受け取ったことを確認してから、商品の対価が第三者機関 B から販売会社 I に支払われるため、販売会社 I および携帯電話契約者 U の両者における安全性を確保することができる。また、携帯電話契約者 U は、近所で通常買物を行うバーコード決済店舗 S に行き、買物のついでにバーコード決済および商品受取通知を行うことが簡単にできる。

【0074】図 3 は本発明の第 3 実施例で、図 1 における第三者機関を省略した例を説明する概念ブロック構成図である。図 3 において、本実施例のバーコード決済システムは、たとえば、最初、バーコード決済店舗 S と携帯電話契約者 U とは、バーコード決済による販売を行うための相互に契約および/または登録 (1) を行っておくことができる。必要に応じて、前記バーコード決済店舗 S は、携帯電話契約者 U に対してバーコードあるいは番号からなる ID を発行することができる。

【0075】前記携帯電話契約者 U は、販売会社 I のインターネット等の通信回線上のホームページを見て、希望の取引コードと自分の携帯電話機番号、あるいは ID

るバーコード決済店舗を省略した例を説明する概念フロー図構成図である。図4において、本実施例のバーコード決済システムは、たとえば、最初、第三者機関Bと、販売会社兼バーコード決済店舗Sと、携帯電話契約者Uと、携帯電話契約者Uから構成される。そして、販売会社兼バーコード決済店舗Sは、第三者機関Bと業務提携(1)を締結する。また、第三者機関Bと携帯電話契約者Uとは、バーコード決済による販売を行うための契約および/または登録(2)を行う。さらに、第三者機関Bは、携帯電話契約者Uに対して番号またはバーコードからなるID(3)を発行する。

【0082】前記携帯電話契約者Uは、販売会社兼バーコード決済店舗Sのインターネット等の通信回線上的ホームページまたは通信販売広告を見て、希望の取引コードと自分のID等を入力して商品の注文(4)を行う。前記販売会社兼バーコード決済店舗Sの情報処理装置は、携帯電話契約者Uからの商品注文を受け付けると同時に、注文の商品名、前記ID、商品の値段等のバーコードを発行した後、この決済用バーコードを第三者機関Bに送信(5)する。第三者機関Bにおける情報処理装置は、前記バーコードを携帯電話契約者Uに送信する(6)。

【0083】前記携帯電話契約者Uは、前記販売会社兼バーコード決済店舗Sから送信されたバーコードを携帯電話機の画像表示部に表示させると共に、販売会社兼バーコード決済店舗Sに行き、バーコード読取器によってバーコード決済(7)を行う。販売会社兼バーコード決済店舗Sの端末機は、前記バーコードによって、前記商品の入金を知り、当該商品を携帯電話契約者Uに送るための処理を行う(8)。前記販売会社兼バーコード決済店舗Sは、前記商品を送った携帯電話契約者UのIDと商品発送等の明細を第三者機関に発行する(9)。

【0084】図4に示されたバーコードによる決済システムは、商品の発送と決済を販売会社兼バーコード決済店舗Sによって行っているが、商品名、商品の値段、携帯電話契約者UのIDやバーコード等を第三者機関Bを経由して携帯電話契約者Uに送っているため、トラブルの発生があつたとしても、第三者機関Bが介在していることにより、解決が容易になると共に、信用機関として効果を發揮する。第三者機関Bに運輸会社になった場合、信用機関と商品の運輸の両方を行うことができ、効率的である。

【0085】図5は本発明の第5実施例で、バーコード決済店舗で買物等を行う例を説明する概念フロー図である。携帯電話契約者Uは、第三者機関B、たとえば、銀行とバーコード決済で買物等を行い、銀行の口座から引き落とすための登録(1)を行う。第三者機関Bは、前記携帯電話契約者Uに携帯電話機の画像表示手段に表示できるバーコードあるいは番号からなるIDを発行(2)する。また、第三者機関Bとバーコード決済店

等を入力して商品の注文(2)を行う。前記IDがバーコードからなる場合、前記携帯電話契約者Uは、予めバーコード決済店舗Sに登録する際にバーコードを送信し、携帯電話機のメモリ装置に格納しておくことができる。前記販売会社Iの情報処理装置は、携帯電話契約者Uからの商品注文を受け付けると同時に、バーコードを携帯電話契約者Uに送信する(3)。

【0076】前記携帯電話契約者Uは、前記販売会社Iから送信されたバーコードを携帯電話機の画像表示部に表示させると共に、登録しているバーコード決済店舗Sに行き、バーコード読取器によってバーコード決済(4)を行う。バーコード決済店舗Sの端末機は、前記バーコードによって、自分の店で売った商品の代金ではなく、前記販売会社Iの商品に対する決済であることを知り、販売会社Iに入金通知(5)を行うための処理をする。

【0077】販売会社Iの情報処理装置は、携帯電話契約者Uの注文した商品に対する対価が前記バーコード決済店舗Sに振り込まれていることを知り、携帯電話契約者Uに商品発送(6)を行う処理をする。前記携帯電話契約者Uは、前記商品の発送伝票に添付されたバーコードが表示されている商品受取通知(7)をバーコード決済店舗に持参して、バーコード読取器によって読み込んでもらう。

【0078】バーコード決済店舗Sの端末機は、前記商品受取通知に表示されたバーコードを読み取ると同時に、前記バーコードの内容を判断して、販売会社Iに対する送金(8)の処理を行う。携帯電話契約者Uがバーコード決済を行って一定期間内に商品の発送がなかった場合、携帯電話契約者Uは、バーコード決済店舗Sに送金しないように依頼することも可能である。

【0079】図3に示されたバーコードによる決済システムは、バーコード決済店舗Sが信用機関として働き、一旦商品の対価がバーコード決済店舗Sに入金された後、販売会社Iから携帯電話契約者Uに商品が発送され、携帯電話契約者Uが商品を受け取ったことを確認してから、商品の対価がバーコード決済店舗Sから販売会社Iに支払われるため、販売会社Iおよび携帯電話契約者Uの両者における安全性を確保することができる。

【0080】また、携帯電話契約者Uは、近所で通常買物を行うバーコード決済店舗Sに登録を行うだけで、買物のついでにバーコード決済および商品受取通知を行うことが簡単にできる。図3に示されたバーコードによる決済システムは、第三者機関である金融機関を省略しているが、バーコード決済店舗が大型のコンビニエンスストア等である場合、信用機関として十分である。大型のコンビニエンスストアは、全国にあるため、勤務先の近所、あるいは旅行先であってもバーコード決済が可能にすることができる。

【0081】図4は本発明の第4実施例で、図1におけ

ないため悪用することができず安全である。

【0091】前記のようにバーコードをスクラッセルしたり、あるいは暗合化する場合、携帯電話機側に、前記スクラッセルまたは暗合を正常なバーコードに解除するための手段を備えておく必要がある。前記携帯電話機におけるスクラッセルまたは暗合化されたバーコードを正常なバーコードに解除するスクラッセルまたは暗合化解除手段は、たとえば、携帯電話契約者が特別な番号を入力すると、前記スクラッセルまたは暗合化がされて、正常なバーコードにすることができる。このような技術は、通常通信装置等に組み込まれているもので十分である。

【0092】前記バーコード等は、スクラッセルまたは暗合化を解除したまま携帯電話機を紛失したり、あるいは盗難に会った場合でも、悪用できないようにする必要がある。そこで、送信されて来た前記バーコードのスクラッセルまたは暗合化したものは、携帯電話契約者がスクラッセルまたは暗合化して経過した後、また元のスクラッセルまたは暗合化された状態でメモリ装置に記憶されるようにすると便利である。前記技術は、携帯電話機が備えているタイマーを使用することにより、簡単に実施できる。このような機能を持った携帯電話機は、クレンジットカードのような機能を持たせても、クレンジットカードより安全にすることができる。

【0093】図7は本発明の第7実施例で、信用のある販売会社の決済をバーコード決済店舗によって行う例を説明する概念ブロック構成図である。図7において、本実施例のバーコード決済システムは、必要に応じて、バーコード決済店舗Sと携帯電話契約者Uとが登録（1）

をしておく。また、販売会社Iと携帯電話契約者Uとは、たとえば、月極めの販売契約（2）を行う。

【0094】前記携帯電話契約者Uは、月末に販売会社Iから取引コード、商品の値段、および自分のIDがバーコードになった携帯電話機に送信（3）される。前記携帯電話契約者Uは、前記販売会社Iから送信されたバーコードを携帯電話機の画像表示部に表示させると共に、登録しているバーコード決済店舗Sに行きバーコード読取器によってバーコード決済（4）を行う。バーコード決済店舗Sの端末機は、前記バーコードによって、自分の店で売った商品の代金ではなく、前記販売会社Iの商品に対する決済であることを知り、販売会社Iに送金（5）を行うための処理をする。

【0095】携帯電話契約者Uとバーコード決済店舗Sとは、必ずしも登録されている必要はなく、いかなるバーコード決済店舗Sであっても、販売会社Iに送金ができるようなシステムにすることも可能である。販売会社Iの情報処理装置は、前記バーコード決済店舗Sからの送金により、明細を発行して携帯電話契約者Uに送るための処理を行う。

【0096】前記販売会社Iは、たとえば、新聞、テレビ

舗Sとは、互いに業務提携（3）を結ぶ。

【0086】携帯電話契約者Uは、バーコード決済店舗Sに行き商品を購入したり、あるいは食事（4）をする。携帯電話契約者Uは、バーコード決済店舗Sで行う場合、携帯電話機の画像表示手段に表示されたバーコードをバーコード決済店舗Sのバーコード読取器により読み取らせる（5）。前記携帯電話契約者UのIDおよび支払うべき金額がバーコード情報となって、第三者機関Bに送信される。第三者機関における情報処理装置は、前記バーコード情報に基づいて、IDの照会を行うと共に、IDから判る携帯電話契約者Uの口座から所定の金額を引き落とすための処理（6）を行う。

【0087】前記携帯電話機の画像表示手段に表示されるIDからなるバーコードは、クレンジットカードの番号に相当するものであり、携帯電話機、POS装置、コンピュータ、通信手段等を含む情報処理装置を介して、クレンジットカードに略等しい機能を発揮することができる。

【0088】図6は本発明の第6実施例で、バーコード決済店舗で買物等を行う際の即時性と安全性を高めた例を説明する概念ブロック構成図である。第6実施例において、携帯電話機の通信機能と、画像表示手段に表示されたバーコードとは、決済が即時に行えるようにしている。登録（1）、IDの発行（2）、あるいは業務提携（3）までは、第5実施例と同じである。携帯電話契約者Uは、バーコード決済店舗Sにおいて買物等（4）を行った後、携帯電話機の画像表示手段に表示されているバーコードを前記バーコード決済店舗Sにおけるバーコード読取器によって読んで貰う（5）。

【0089】前記バーコード読取器によって読み取られたバーコードは、第三者機関Bに送信され、バーコードで表示されたIDが第三者機関Bに登録されて、口座を有するものであるか否かを照会する（6）。第三者機関Bにおける情報処理装置は、前記バーコードとは異なる購入された商品等に対する決済用のバーコードを送信する（7）。前記決済用のバーコードは、携帯電話契約者Uの携帯電話機で即座に受信されて、前記バーコード読取器によって読み取られる（8）。前記決済用バーコードは、さらに、第三者機関Bに送信されて、商品の値段が即時に携帯電話契約者Uの口座から引き落とされて決済（9）が終了する。

【0090】バーコード決済に使用されるバーコードは、数字と異なり、比較的盗み難い。しかし、バーコードが盗まれないために、スクラッセルをかけたリ、あるいは暗合化して送信し、携帯電話契約者Uが暗証番号等を入力することにより、正常なバーコードに変換できるようにすることができる。このような方法は、支払いを即時行うようにしても、高いセキュリティを得ることができ、バーコード決済機能を有する携帯電話機は、例えば、通信内容が傍受されたり、紛失しても、内容が判ら

び、ガス、水道、電気のような公共料金の他に、家賃、駐車料金、洗濯代金、リース、レンタル料金、月賦代金等月極めのものである場合、携帯電話契約者Uの決済が行きつけのバーコード決済店舗で済み、便利であると共に支払忘れも少なく、集金の手間もかからないという効果を奏するものである。

【0097】図1ないし図7に示された携帯電話機とバーコードを使用した決済システムは、一例であり、これら中の少なくとも一つの処理を省略したり、あるいは少なくとも一つの処理を入れ替えることも可能である。

【0098】図8は本発明の実施例に使用する携帯電話機の例を説明する概念ブロック構成図である。図8において、携帯電話機は、少なくとも受信装置811と、メモリ装置812と、画像表示部813と、プッシュボタン814と、送信装置815と、図示されていない制御装置および電話機として各機能を発揮するための装置および回路等とから構成されている。

【0099】前記携帯電話機は、その他に、必要に応じて、スクランブルまたは暗合を解除する解除手段816と、前記解除手段816で解除したスクランブルまたは暗合を元に戻すまでの時間を決めるタイマー817を備えておくことができる。

【0100】携帯電話契約者が注文した商品に対する商品名、商品の値段、携帯電話契約者ID等を表示するバーコードは、アンテナ818を介して受信装置811によって受信される。受信装置811に受信されたバーコードは、一旦メモリ装置812に記憶された後、プッシュボタン814の操作により画像表示部813に表示される。携帯電話契約者は、前記画像表示部813に表示されたバーコードをバーコード決済店舗におけるバーコード読取器によって読んでもらう。

【0101】バーコード決済店舗におけるバーコード読取器は、その表示装置に商品名、商品の値段、携帯電話契約者ID等が表示される。携帯電話契約者は、前記表示装置の内容を確認した上で、その商品に対する対価を支払うことができる。前記バーコードは、通常悪用される価値がない。しかし、バーコードを使用して、クレジットカードに近い機能をもたせた場合、バーコードは、スクランブルをかけたり、あるいは暗合化して送信される。したがって、携帯電話機には、前記スクランブルまたは暗合を解除する解除手段816を設けておく、と、取引がより安全になる。

【0102】さらに、前記スクランブルまたは暗合化して送信されたにもかかわらず、メモリ装置に解除されたバーコードが残されている場合、携帯電話機が盗難に会うと危険である。前記スクランブルまたは暗合は、この危険を防止するために、必要な時のみ解除手段816によって解除され、所定の時間が経過すると、自動的に元のスクランブルまたは暗合に戻るようにする。

【0103】図9は本発明の実施例を構成する第三者機

関の情報処理装置の例を説明するための概念ブロック構成図である。図9において、(イ)ー(イ)、(ロ)ー(ロ)は、実線により接続されている。第三者機関の情報処理装置は、受信装置911と、情報の管理および情報装置の制御を行う管理部912と、登録されている携帯電話契約者のID発行部913と、登録されている販売会社のID発行部914と、メモリ装置915と、画像表示部916と、バーコード発行部917と、登録されている販売会社の商品情報を蓄積しておく商品情報蓄積部919と、入金通知部920と、送金処理部921と、送信装置922と、アンテナ923とから構成されている。

【0104】受信装置911は、販売会社から携帯電話契約者IDと、商品名、商品の値段等に対するバーコードを発行する依頼があったことを受信する。前記管理部912は、前記受信内容を理解して、携帯電話契約者ID発行部913から携帯電話契約者のIDを、販売会社ID発行部914から販売会社のIDをそれぞれバーコードによって発行させる。前記管理部912は、前記受信内容を理解して、商品情報蓄積部919に蓄積されている情報に基づいて、商品名および商品の値段に相当するバーコードをバーコード発行部917において発行させる。

【0105】これらの各バーコードは、一旦メモリ装置915に記憶されると共に、画像表示部916に表示される。当該画像表示部916に表示された各バーコードは、送信装置922によって携帯電話契約者に送信される。また、管理部912は、受信装置911によってバーコード決済店舗から入金のあった通知を受信したと判断した場合、入金通知部920に入金通知を送らせる処理を行わせる。管理部912は、販売会社から商品発送をしたという通知を受信したと判断した場合、送金処理部921に送金処理を行わせる。

【0106】また、第三者機関の情報処理装置は、図示されていないが、必要に応じて、バーコードをスクランブルまたは暗合化するための手段や携帯電話契約者に対して販売会社に送金した明細を送る送金明細発行部を備えることができる。

【0107】図10は本発明の実施例を構成する他の第三者機関の情報処理装置の例を説明するための概念ブロック構成図である。図10において、第三者機関の情報処理装置は、受信装置1011と、情報の管理および情報処理装置の制御を行う管理部1012と、携帯電話契約者ID発行部1013と、メモリ装置1014と、画像表示部1015と、送信装置1016と、販売会社にバーコード決済店舗から入金があったことを知らせる入金通知部1017と、販売会社に送金の処理を行う送金処理部1018と、アンテナ1019とから構成されている。

【0108】管理部1012は、バーコード決済店舗か

ら入金のあったことを判断して、入金通知部 1017 に対して、販売会社に入金通知を出すための処理を行わせる。前記管理部 1012 は、バーコード決済店舗から送金のあったことを判断して、送金処理部 1018 に販売会社に対して、送金するための処理を行わせる。管理部 1012 は、必要に応じて、携帯電話契約者に対して、送金明細を送るための処理を行わせる。図 9 および図 10 に示された第三者機関は、単に一例を示したに過ぎず、各種態様の変形があることはいうまでもない。

【0109】図 11 は本発明の実施例を構成するバーコード決済店舗の例を説明するための概念ブロック構成図である。図 11 において、バーコード決済店舗における情報処理装置は、携帯電話機の画像表示部に表示されたバーコードを読み取るバーコード読取器 1111 と、金銭登録器 1112 と、画像表示部 1113 と、領収書発行装置 1114 と、メモリ装置 1115 と、送金手段 1116 と、図示されていない制御装置とから構成されている。

【0110】携帯電話契約者は、販売会社または第三者機関から送られてきた商品の値段等が表示されるバーコードを受信し、メモリ装置に記憶させておく。前記携帯電話契約者は、前記バーコードが表示される携帯電話機を持って、たとえば、買物のついでに、バーコード決済店舗に行き、バーコード決済店舗におけるバーコード読取器 1111 によってバーコードを読み取ってもらう。前記バーコード読取器 1111 は、金銭登録器 1112 および画像表示部 1113 に接続されている。携帯電話契約者は、バーコードの内容である商品名、商品の値段、商品の注文者名（あるいは ID）等を前記画像表示部 1113 によって確認した後、当該金額を決済する。

【0111】バーコード決済店舗は、携帯電話契約者の決済に対して自動的に領収書発行装置 1114 によって発行し、その場で携帯電話契約者に手渡す。バーコード決済店舗は、携帯電話契約者から決済が終了したこと、および必要な情報をメモリ装置 1115 に記憶する。その後、バーコード決済店舗における情報処理装置は、所定の時間または任意の時間に前記金額を第三者機関または販売会社へ送金するために送金手段 1116 に処理を行わせる。本実施例は、バーコード決済店舗が大手コンビニエンスストアの場合、第三者機関としての信用機関を兼ねることができる。

【0112】図 12 は本発明の実施例を構成するバーコード決済店舗の他の例を説明するための概念ブロック構成図である。図 12 において、図 11 に示す実施例と相違する所は、管理部 1215 と、入金通知、送金明細発行部 1218 を設けた点で異なっている。管理部 1215 は、情報処理装置の制御部に相当するもので、必ずしもブロックとして設けておく必要がない。また、本実施例は、第三者機関 1220 があることを前提としたものである。

【0113】携帯電話契約者 1221 は、第三者機関 1220 から送られてきた商品の値段等が表示されるバーコードを携帯電話機によって受信し、携帯電話機のメモリ装置に記憶させておく。前記携帯電話契約者 1221 は、前記バーコードが表示される携帯電話機を持って、たとえば、通勤の途中あるいは昼休みにバーコード決済店舗に行き、バーコード決済店舗におけるバーコード読取器 1211 によってバーコードを読み取ってもらう。前記バーコード読取器 1211 は、金銭登録器 1212 および画像表示部 1213 に接続されている。携帯電話契約者 1221 は、バーコードの内容である商品名、商品の値段、商品の注文者名（あるいは ID）等を前記画像表示部 1213 によって確認した後、当該金額を決済する。

【0114】バーコード決済店舗における情報処理装置は、携帯電話契約者 1221 の決済に対して自動的に領収書発行装置 1214 によって発行し、その場で携帯電話契約者 1221 に手渡す。バーコード決済店舗は、携帯電話契約者 1221 から決済が終了したこと等のメモリ装置 1216 に記憶されている情報を基にして、所定事項が記載されている入金通知書を入金通知発行部 1218 で発行する。この入金通知書は、送信装置 1219 によって、第三者機関 1220 に送信される。

【0115】第三者機関 1220 における情報処理装置は、前記入金通知書を受信した後、販売会社 1222 にその旨の情報を送信する。販売会社 1222 は、前記入金があったという情報により、安心して携帯電話契約者 1221 に商品を発送することができる。前記入金通知を発行してから一定期間経過後、あるいは携帯電話契約者 1221 がバーコード決済店舗に赴き商品を受領したことをバーコードによって読ませるようにすることで、自動的に第三者機関 1220 から販売会社 1222 に送金されるように処理することができる。

【0116】バーコード決済店舗における情報処理装置は、入金通知書を発行する以外に携帯電話契約者 1221 に対して、送金明細書を発行すると共に、送信装置 1219 から第三者機関 1220 を介して、あるいは直接送信することができる。また、この実施例は、第三者機関 1220 を省略して、全てをバーコード決済店舗の情報処理装置によって行うことも可能である。

【0117】図 13 は本発明の実施例を構成する販売会社兼バーコード決済店舗の例を説明するための概念ブロック構成図である。図 13 において、図 12 に示す実施例と相違する所は、携帯電話契約者 1311 からの商品注文を受ける受信装置 1312 と、注文による取引コードを読み取る取引コード読取部 1313 と、商品名、商品の値段、注文者の ID あるいは氏名等をバーコードに変換するバーコード発行部 1314 を備えている点である。前記バーコード発行部 1314 は、バーコードをスクランブルしたり、あるいは暗号化するための処理部を

設けることができる。

【0118】携帯電話契約者1311は、販売会社兼バーコード決済店舗に対して商品の注文を行う。この注文は、販売会社兼バーコード決済店舗における情報処理装置の一部を構成している受信装置1312によって受信される。受信された内容は、取引コード読取部1313によって読み取られ、バーコード発行部1314によって、必要な情報がバーコードに変換されると共に、メモリ装置1317に格納される。当該メモリ装置1317の内容は、送信装置1318によって、携帯電話契約者1311に直接あるいは第三者機関1319を介して送られる。

【0119】携帯電話契約者1311は、販売会社兼バーコード決済店舗から送られて来たバーコードを携帯電話機によって受信し、携帯電話機のメモリ装置に格納しておく。前記携帯電話契約者1311は、前記バーコードが表示される携帯電話機を持って、必要な時間に、販売会社兼バーコード決済店舗に行き、バーコード決済店舗におけるバーコード読取器1321によってバーコードを読み取ってもらう。前記バーコード読取器1321は、金銭登録器1322および画像表示部1323に接続されている。携帯電話契約者1311は、バーコードの内容である商品名、商品の値段、商品の注文者名（あるいはID）等を前記画像表示部1323によって確認した後、当該金額を決済する。

【0120】販売会社兼バーコード決済店舗における情報処理装置は、携帯電話契約者1311の決済に対して自動的に領収書発行装置1324によって領収書を発行し、その場で携帯電話契約者1311に手渡し伝票を製作する。販売会社兼バーコード決済店舗における情報処理装置は、携帯電話契約者1311から決済が終了したこと等のメモリ装置1317に記憶されている情報を送信装置1318を介して第三者機関1319に送信する。管理部1315は、メモリ装置1317において、第三者機関1319に送金したことを判断した場合、携帯電話契約者1311に商品を発送する処理を行わせる。この処理は、通常の商品発送伝票により行うことができる。

【0121】本実施例は、携帯電話契約者1311と販売会社兼バーコード決済店舗とが相互に信頼関係がある場合、第三者機関1319を省略することが可能である。本実施例は、販売会社兼バーコード決済店舗に多くの在庫を抱えることなく、他のチェーン店舗のものであっても、あるいは通信販売のものであっても、携帯電話契約者1311から注文を受けることができる。

【0122】図14は本発明の実施例を構成する販売会社の例を説明するための概念ブロック構成図である。図14において、販売会社における情報処理装置は、携帯電話契約者1411から注文を受ける受信装置1412と、前記受信装置1412によって受信した内容を読み

取る取引コード読取部1413と、商品名、商品の値段、注文者のIDあるいは氏名等をバーコードに変換するバーコード発行部1414と、バーコード等の情報を記憶するメモリ装置1416と、当該メモリ装置1416の内容を表示することができる画像表示部1417と、バーコード等の情報を送信する送信装置1418とから構成されている。また、必要に応じて、バーコード発行部1414は、バーコードをスクランブルしたり、あるいは暗号化することができる。

【0123】携帯電話契約者1411は、インターネット等の通信回線を介して販売会社のホームページあるいは広告をみて、商品の注文を行う。この注文は、販売会社における受信装置1412によって受信される。受信された内容は、取引コード読取部1413によって読み取られ、バーコード発行部1414によって、必要な情報がバーコードに変換されると共に、メモリ装置1416に格納される。当該メモリ装置1416の内容は、画像表示部1417に表示されると共に、送信装置1418によって、携帯電話契約者1411に直接あるいは第三者機関1419を介して送られる。管理部1415は、前記処理の制御を行うようにすることができる。

【0124】携帯電話契約者1411は、販売会社から送られて来たバーコードを携帯電話機によって受信し、携帯電話機のメモリ装置に格納しておく。前記携帯電話契約者1411は、前記バーコードが表示される携帯電話機を持って、ついでに時間に、バーコード決済店舗1420に行き、バーコード決済を行う。また、受信装置1412は、第三者機関1419またはバーコード決済店舗1420から当該商品に対する入金があったことを受信した後、管理部1415に商品の発送手続きを行わせる処理を行う。必要により、携帯電話契約者1411が第三者機関1419、あるいはバーコード決済店舗1420に商品の受取通知を行った後、販売会社に商品の代金を送金するようなシステムにすることも可能である。

【0125】図15は本発明の実施例を構成する販売会社の他の例を説明するための概念ブロック構成図である。図15において、販売会社における情報処理装置は、契約事項記憶部1512がある点で図14に示された実施例と異なっている。前記契約事項記憶部1512は、携帯電話契約者1517の住所、氏名、契約内容、値段等が記憶されている。

【0126】たとえば、前記販売会社は、ガス、水道、電気、新聞、テレビ等の公共料金、家賃、駐車場料金、洗濯代金等を徴収する際に都合が良い。前記販売会社がガス、水道、電気の場合、携帯電話契約者1517は、販売会社の受信装置1519にメーターが接続されている。受信装置1519により受信された数値は、管理部1511の制御を基に契約事項記憶部1512によって、金額が計算され、当該金額によるバーコード等がバ

ーコード発行部 1513 によって発行される。

【0127】バーコード発行部 1513 によって発行されたバーコードは、画像表示部 1514 によって表示されると同時にメモリ装置 1515 に記憶される。また、バーコード発行部 1513 によって発行されたバーコードは、送信装置 1516 によって携帯電話契約者 1517 に送信される。携帯電話契約者 1517 は、前記バーコード情報を携帯電話機で受信し、そのメモリ装置 1515 に記憶する。

【0128】携帯電話契約者 1517 は、前記バーコードが表示される携帯電話機を持って、バーコード決済店舗 1518 に行き、バーコード決済を行う。バーコード決済店舗 1518 は、たとえば、インターネット等の通信回線を利用した決済という形で携帯電話契約者 1517 の料金を販売会社に送金することができる。値段の決められている新聞やテレビ等の場合、毎月の月末に販売会社から値段、氏名、月日等必要事項がバーコードになって携帯電話契約者 1517 に送信装置 1516 によって送信される。

【0129】携帯電話契約者 1517 は、予め決められた期間内に、バーコード決済店舗 1518 に行き、月極め料金を決済する。バーコード決済店舗 1518 における情報処理装置は、前記同様に販売会社に自動的に送金を行うようにすることができる。また、前記販売会社は、通常の商品を販売することもできる。この場合、携帯電話契約者 1517 は、販売会社に商品を注文すると、受信装置 1519 で取引コード等を受信して、その後の処理を同様に自動的に処理することができる。

【0130】以上、説明した実施例は、単に一例に過ぎず、各実施例の一部を組み合わせた態様とすることができる。また、携帯電話契約者と第三者機関の登録のための処理、携帯電話契約者とバーコード決済店舗の契約等の処理、携帯電話契約者の ID の発行等は、詳細に説明していないものもあるが、必要に応じて、情報処理装置により行うことができる。携帯電話機は、無線であるが、その他、バーコード決済店舗、第三者機関、販売会社との間の情報の処理は、有線あるいは無線のいずれで行うことも可能である。

【0131】図 16 は本発明の実施例で、商品を購入する際に第三者機関が信用機関になる例を説明するためのフローチャートである。図 16 から図 20 のフローチャートは、携帯電話契約者、バーコード決済店舗、第三者機関、および販売会社が行う処理の一例を示すものである。図 16 において、携帯電話契約者 1611 は、第三者機関と契約をするか否かを検討する（ステップ 1612）。携帯電話契約者 1611 は、第三者機関から ID を得ているか否かを調べる（ステップ 1613）。携帯電話契約者 1611 は、もし、ID を得ていない場合、第三者機関へ ID を要求する（ステップ 1614）。

【0132】携帯電話契約者 1611 は、第三者機関と

契約が終了し、バーコードまたは番号による ID を得た場合、販売会社に ID および商品名またはそのコード番号によって注文ができる（ステップ 1615）。次に、携帯電話契約者 1611 は、第三者機関からバーコードが来たか否かを携帯電話機によって確かめる（ステップ 1616）。携帯電話契約者 1611 は、もし、携帯電話機によってバーコードが受信されない場合、第三者機関にバーコードの送信を要求する（ステップ 1617）。

【0133】携帯電話契約者 1611 は、バーコードを携帯電話機によって受信できるようになった場合、バーコード決済店舗に行き、バーコード決済を行う（ステップ 1618）。携帯電話契約者 1611 は、商品が販売会社から送られて来たか否かを調べる（ステップ 1619）。携帯電話契約者 1611 は、販売会社から商品が送られて来ない場合、販売会社に商品を要求する（ステップ 1620）。携帯電話契約者 1611 は、商品を受領した場合、商品の受領をバーコードによって行うか、あるいは第三者機関に対して、電話、コンピュータ等によって行う（ステップ 1621）。

【0134】図 17 は本発明の実施例で、バーコード決済店舗が信用機関を兼ねる例を説明するためのフローチャートである。図 17 において、携帯電話契約者 1711 は、バーコード決済店舗と契約をするか否かを検討する（ステップ 1712）。携帯電話契約者 1711 は、バーコード決済店舗から ID を得ているか否かを調べる（ステップ 1713）。携帯電話契約者 1711 は、もし、ID を得ていない場合、バーコード決済店舗へ ID を要求する（ステップ 1714）。

【0135】携帯電話契約者 1711 は、バーコード決済店舗と契約が終了し、バーコードまたは番号による ID を得た場合、販売会社に ID および商品名またはそのコード番号によって注文ができる（ステップ 1715）。次に、携帯電話契約者 1711 は、バーコード決済店舗からバーコードが来たか否かを携帯電話機によって確かめる（ステップ 1716）。携帯電話契約者 1711 は、もし、携帯電話機によってバーコードが受信されない場合、バーコード決済店舗にバーコードを要求する（ステップ 1717）。

【0136】携帯電話契約者 1711 は、バーコードを携帯電話機によって受信できるようになった場合、バーコード決済店舗に行き、バーコード決済を行う（ステップ 1718）。携帯電話契約者 1711 は、商品が販売会社から送られて来たか否かを調べる（ステップ 1719）。携帯電話契約者 1711 は、販売会社から商品が送られて来ない場合、販売会社に商品を要求する（ステップ 1720）。携帯電話契約者 1711 は、商品を受領した場合、商品の受領をバーコードによって行うか、あるいはバーコード決済店舗に対して、電話、コンピュータ等によって行う（ステップ 1721）。

【0137】図18は本発明の実施例で、販売会社が信用機関を兼ねる例を説明するためのフローチャートである。図18は、信用機関が販売会社になる点で図17のものと異なっているがその他は略同じであるため、フローチャートの説明を省略する。

【0138】図19は本発明の実施例で、携帯電話契約者、バーコード決済店舗、および第三者機関のやりとりを説明するためのフローチャートである。図19において、バーコード決済店舗1911は、携帯電話契約者と契約が終了したか否かを調べる（ステップ1912）。バーコード決済店舗1911は、第三者機関と契約を終了したか否かを調べる（ステップ1913）。契約が未だの場合、バーコード決済店舗1911は、第三者機関に契約を要求する（ステップ1914）。

【0139】バーコード決済店舗1911は、全ての契約が完了した場合、バーコードによる決済が可能であることを宣伝する（ステップ1915）。バーコード決済店舗1911は、携帯電話契約者からのバーコード決済であるか否かを調べる（ステップ1916）。バーコード決済店舗1911における情報処理装置は、携帯電話契約者からのバーコード決済でないとは判断した場合、通常の商品販売であり、当該対価を要求する（ステップ1917）。

【0140】バーコード決済店舗1911における情報処理装置は、携帯電話契約者からのバーコード決済であると判断した場合、決済された代金を第三者機関に送金する（ステップ1918）。バーコード決済店舗1911における情報処理装置は、携帯電話契約者からの商品受取通知があったか否かを調べる（ステップ1919）。バーコード決済店舗1911における情報処理装置は、携帯電話契約者から商品受取通知があったと判断した場合、第三者機関に受取通知を送付する（ステップ1920）。

【0141】図20は本発明の実施例で、販売会社、バーコード決済店舗、第三者機関、および携帯電話契約者のやりとりを説明するためのフローチャートである。図20において、販売会社2011における情報処理装置は、販売会社とバーコード決済店舗とが契約を終了したか否かを調べる（ステップ2012）。販売会社における情報処理装置は、バーコード決済店舗と契約が終了したと判断した場合、たとえば、インターネット等の通信回線によってバーコード決済が可能であることを宣伝する。契約が未だの場合、販売会社2011は、バーコード決済店舗に契約を要求するための処理を行う（ステップ2013）。

【0142】販売会社2011における情報処理装置は、携帯電話契約者から注文があるか否かを調べる（ステップ2014）。販売会社2011における情報処理装置は、携帯電話契約者から注文がない場合、注文を待ち続ける（ステップ2015）。販売会社2011にお

ける情報処理装置は、携帯電話契約者から商品の注文があった場合、第三者機関またはバーコード決済店舗に商品名、商品の値段、あるいは携帯電話契約者のID等をバーコードにして送信する（ステップ2016）。

【0143】販売会社2011における情報処理装置は、携帯電話契約者からのバーコード決済が行われ、第三者機関に送金されたことを示す送金通知があったか否かを調べる（ステップ2017）。販売会社2011における情報処理装置は、前記送金通知がない場合、第三者機関から送金通知が来るのを待つ（ステップ2018）。販売会社2011における情報処理装置は、第三者機関から送金通知があった場合、携帯電話契約者へ商品を発送するための処理を行ったか否かを調べ続ける（ステップ2019）。販売会社における情報処理装置は、携帯電話契約者へ商品を発送した後、第三者機関から入金を受け入れるための処理を行う（ステップ2020）。

【0144】以上、本発明の実施例を詳述したが、本発明は、前記実施例に限定されるものではない。そして、本発明は、特許請求の範囲に記載された事項を逸脱することがなければ、種々の設計変更を行うことが可能である。本実施例は、携帯電話機、バーコード読取器、送受信装置、その他の情報処理装置の細部について詳述されていないが、周知または公知の技術によって達成できるものである。また、情報処理装置による送金、入金、決済等は、インターネット等の通信回線を介して既に行われている方法を採用したり、あるいはこれからオンライン決済の方法が開発されたものを使用することができ。すなわち、本発明は、従来の決済方法に携帯電話機とバーコード情報、および／または第三者機関を付け加えることにより、発明の効果に記載されているような数々の利点を生むことができたものである。

【0145】本発明の携帯電話機は、携帯電話機能を有するモバイル端末機を含むことはいまでもないことである。本発明のバーコードからなるIDは、一回の商取引にのみ使用できるようにし、次の商取引に使用できないようにすれば、たとえば、携帯電話機のメモリ装置に前記IDが残されていたとしても、これを悪用することができない。また、本発明は、運送会社の商品配達員にPOS端末機を携帯させて、商品を配達する際に決済を行うことができる。この方法は、予め販売会社からバーコードを携帯電話機に送信しておき、商品を受け取る際にバーコード決済を行う。また、この方法は、第三者機関として、銀行と提携した場合、販売会社から送信されたバーコードによって、銀行口座から引き落とすこともできる。

【0146】

【発明の効果】本発明によれば、携帯電話機に備えている画像表示機能を利用すること、および前記画像表示部にバーコードを表示することにより、安全でしかも簡

便、かつ迅速な商取引を可能にしたものである。

【0147】本発明によれば、携帯電話契約者がバーコード決済店舗で買物のついでに決済ができると同時に、前記携帯電話契約者が商品を受け取ったことを確認した後に、商品の対価を販売会社へ送金する仕組みになっているため、携帯電話契約者および販売会社の両者が安全な商取引が可能である。

【0148】本発明によれば、携帯電話契約者がバーコード決済店舗に決済に行く場合と、商品が販売会社から前記携帯電話契約者に発送される場合以外は、情報処理装置によって自動的に処理することができる。

【0149】本発明によれば、決済が行きつけのバーコード決済店舗でできるため、振込を忘れたりすることがなく、簡便でしかも迅速な取引が可能である。

【0150】本発明によれば、携帯電話契約者の販売会社に対する注文後にバーコードが送信される時間が早く、また、前記販売会社とバーコード決済店舗とのネットワークによる接続により、決済通知が行えるため、携帯電話契約者の商品注文から商品の受領までの時間が短縮できると共に、その間の手間がかからずに済む。

【0151】本発明によれば、信用機関を運送会社にした場合、商品の運送も兼ねることができるため、信用と輸送の両方を行うことができ、販売会社、運送会社、携帯電話契約者の三者にとってメリットがある。

【0152】本発明によれば、実施の態様を変えることにより、各種商取引に応用することができる。

【0153】本発明によれば、バーコードにスクランブルをかけたり、あるいは暗号化して利用することにより、安全性が向上するため、高度でしかも安全な商取引が可能になる。

【0154】本発明によれば、携帯電話機の画像表示手段にバーコードを表示させているため、番号のみによる商取引を行う場合と比較して、安全が確保し易くなる。また、携帯電話機は、その形状や機能により、カードと比較して、紛失や盗難を早く知ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施例で、販売会社と携帯電話契約者との間の商取引にバーコード決済店舗と第三者機関が介在する例を説明するための概念ブロック構成図である。

【図2】本発明の第2実施例で、図1における商取引をさらに安全に行うための例を説明する概念ブロック構成図である。

【図3】本発明の第3実施例で、図1における第三者機関を省略した例を説明する概念ブロック構成図である。

【図4】本発明の第4実施例で、図1におけるバーコード決済店舗を省略した例を説明する概念ブロック構成図である。

【図5】本発明の第5実施例で、バーコード決済店舗で買物等を行う例を説明する概念ブロック構成図である。

【図6】本発明の第6実施例で、バーコード決済店舗で買物等を行う際の即時性と安全性を高くした例を説明する概念ブロック構成図である。

【図7】本発明の第7実施例で、信用のある販売会社の決済をバーコード決済店舗によって行う例を説明する概念ブロック構成図である。

【図8】本発明の実施例に使用する携帯電話機の例を説明する概念ブロック構成図である。

【図9】本発明の実施例を構成する第三者機関の情報処理装置の例を説明するための概念ブロック構成図である。

【図10】本発明の実施例を構成する他の第三者機関の情報処理装置の例を説明するための概念ブロック構成図である。

【図11】本発明の実施例を構成するバーコード決済店舗の例を説明するための概念ブロック構成図である。

【図12】本発明の実施例を構成するバーコード決済店舗の他の例を説明するための概念ブロック構成図である。

【図13】本発明の実施例を構成する販売会社兼バーコード決済店舗の例を説明するための概念ブロック構成図である。

【図14】本発明の実施例を構成する販売会社の例を説明するための概念ブロック構成図である。

【図15】本発明の実施例を構成する販売会社の他の例を説明するための概念ブロック構成図である。

【図16】本発明の実施例で、商品を購入する際に第三者機関が信用機関になる例を説明するためのフローチャートである。

【図17】本発明の実施例で、バーコード決済店舗が信用機関を兼ねる例を説明するためのフローチャートである。

【図18】本発明の実施例で、販売会社が信用機関を兼ねる例を説明するためのフローチャートである。

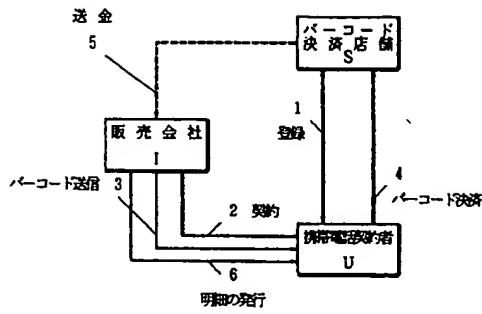
【図19】本発明の実施例で、携帯電話契約者、バーコード決済店舗、および第三者機関のやりとりを説明するためのフローチャートである。

【図20】本発明の実施例で、販売会社、バーコード決済店舗、第三者機関、および携帯電話契約者のやりとりを説明するためのフローチャートである。

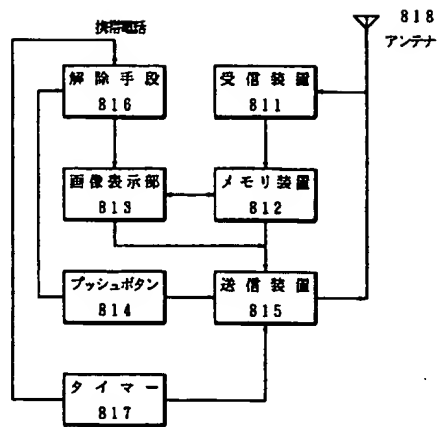
【符号の説明】

I・・・販売会社
B・・・第三者機関
U・・・携帯電話契約者
S・・・バーコード決済店舗

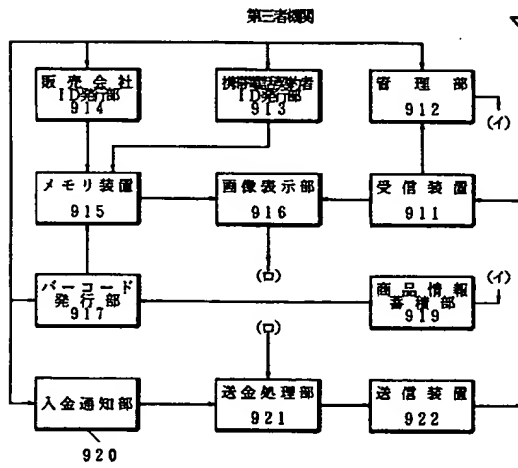
【図7】



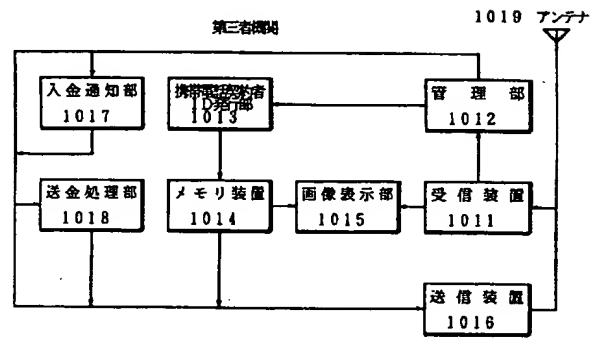
【図8】



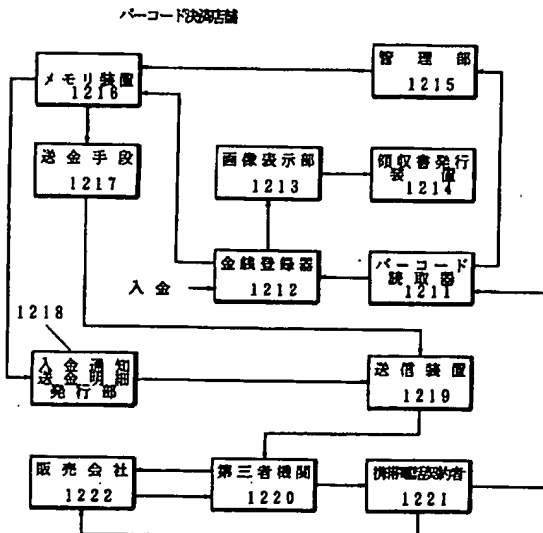
【図9】



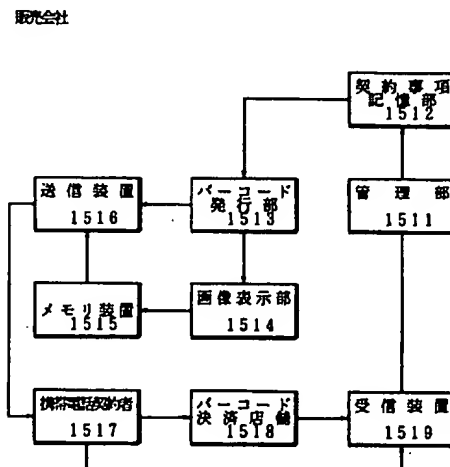
【図10】



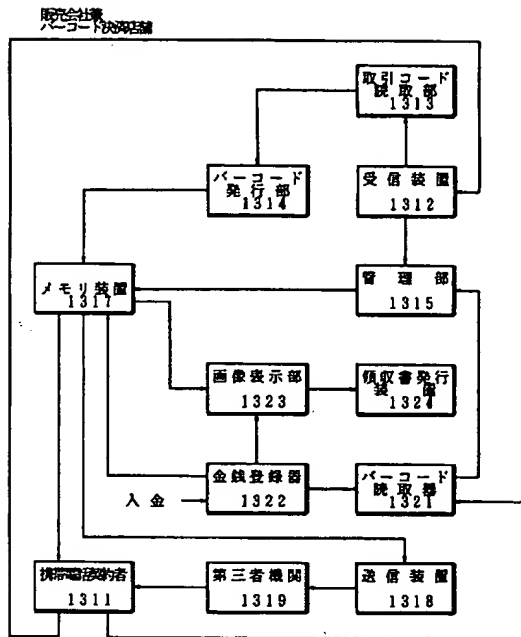
【図12】



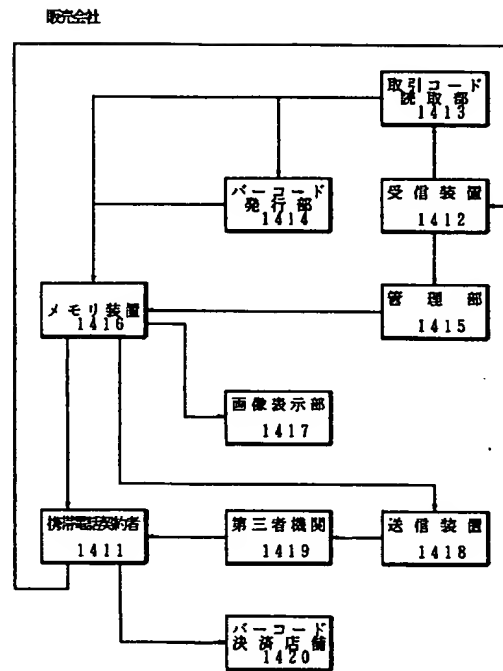
【図15】



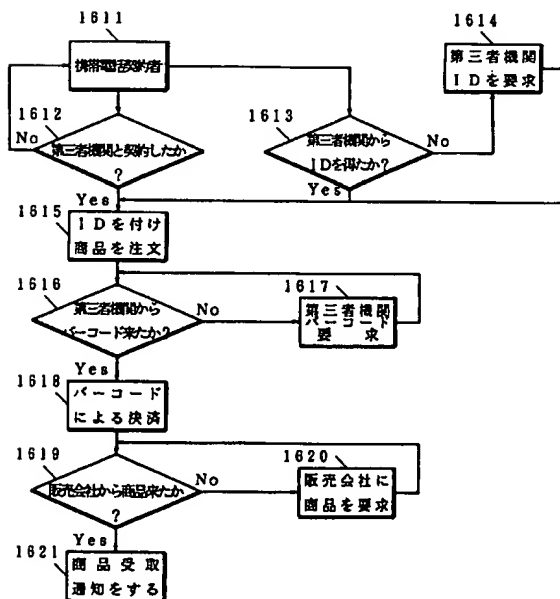
【図13】



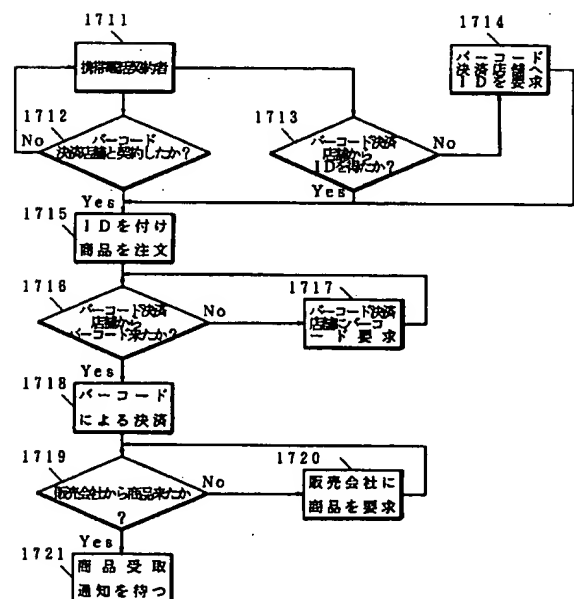
【図14】



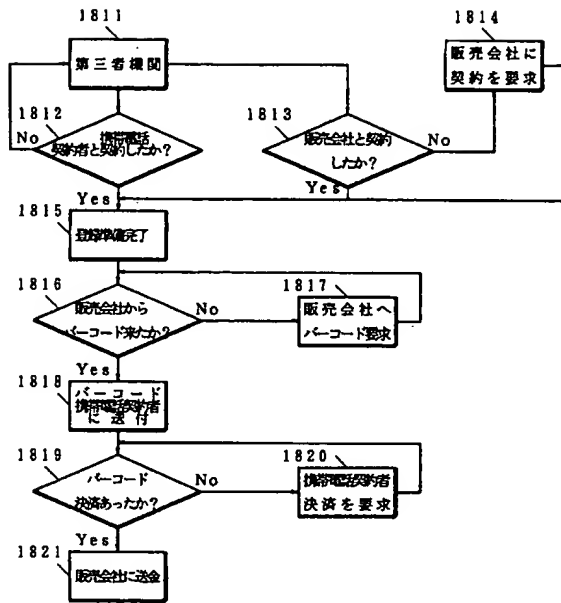
【図16】



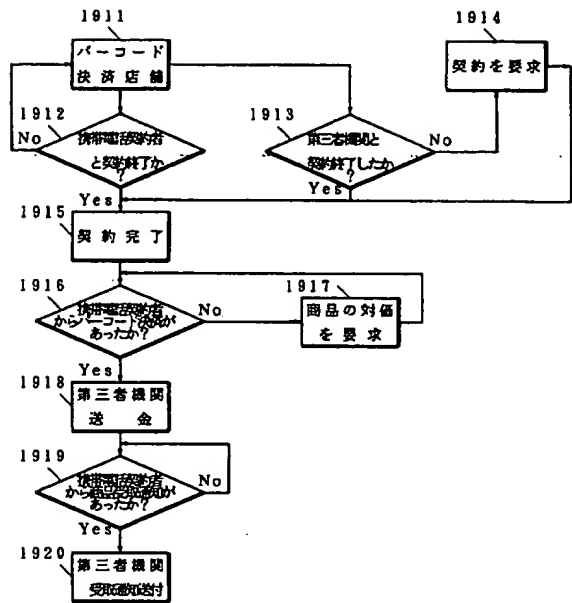
【図17】



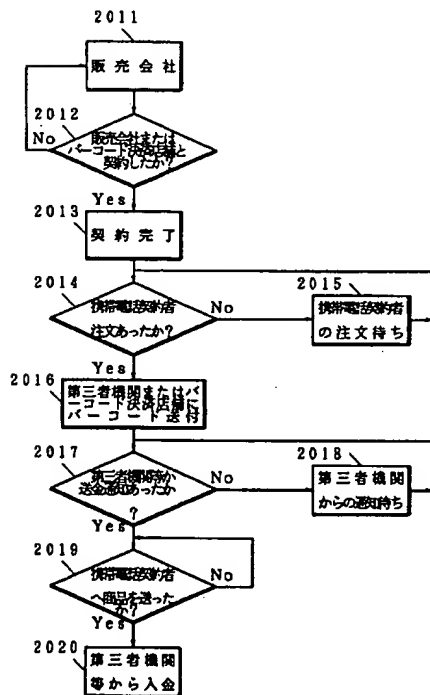
【図18】



【図19】



【図20】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.⁷
G 0 9 C 1/00
H 0 4 Q 7/38

識別記号
6 6 0

F I
G 0 6 F 15/21
15/30

7-コード (参考)
3 1 0 Z 5 K 0 6 7
C 9 A 0 0 1

L

M

330

360

109M

H04B 7/26

Fターム(参考) 3E042 CA02 CC01 CD04 EA06
5B049 AA05 BB11 BB46 CC05 CC08
CC36 DD02 FF04 GG01 GG04
GG06 GG07
5B055 BB10 BB12 CB09 CB10 EE02
EE03 EE13 EE17 EE21 EE27
FA05 JJ05 PA05 PA34
5B072 BB00 BB01 CC16 CC24 MM11
5J104 AA07 KA01 NA05 NA27 PA02
PA07 PA10
5K067 AA21 BB04 BB21 DD17 DD52
EE02 FF02 FF23
9A001 BB04 BB06 CC05 DD15 EE03
EE04 JJ25 JJ56 JJ58 JJ66
JJ67 KK57 LZ03